

協豊会 関東地区

平成26年度 関東地区グループ活動 工場見学会を実施

協豊会関東地区では毎年、地区グループ活動の一環として、異業種の先進・優秀企業訪問による工場見学会を実施しています。

今年も8月29日に、関東地区グループ活動への参加登録会社40社より40名のご参加をいただき、「三協アルミ」ブランドで有名な三協立山株式会社・射水工場さん（富山県射水市）にお邪魔をさせていただいての見学会を開催いたしました。



【工場見学会に参加された皆様とご案内をしてくださりました三協立山(株)社員さん（射水工場にて）】

射水工場さんで見せていただいたのは、アルミサッシの生産工程の中で、原材料となるアルミビレットをアルミ型材にまで加工をする、押出、切断、熱処理、表面処理の一連の工程でした。

日頃は自動車向け部品の加工や組立てを見慣れている私どもですが、住宅用建材の生産工程を見るのは初めてという参加メンバーも多く、アルミビレットが6000tの力を持つ押出機から金型を通り抜けて出てくる最長60mにまで及ぶ細長いアルミ型材に変わる様子など、皆、大変興味深く熱心に工場の方の説明に聴き入っていました。

ライン現場を見学した後、同工場の研修室で三協立山さんのCSRについてのご説明をいただきました。社名にある「三協」は、お客様・地域社会・社員の三者の協業を願うところから来ているとのこと、健全な企業活動を行ないながら、信頼される企業風土を醸成して行くという同社のお取り組み内容を伺うことが出来ました。

最後にライン見学やCSRについての質疑応答、意見交換も行なわれ、自動車とは異なる業界企業の取組みやその考え方などを大いに知り、学ぶことが出来ました。

関東地区のグループ活動として、これからも業種の枠を越えて、先進・優秀企業を訪問することで見聞を広め、改善・改革へのヒントとなる現地見学会を企画し、実施してまいります。